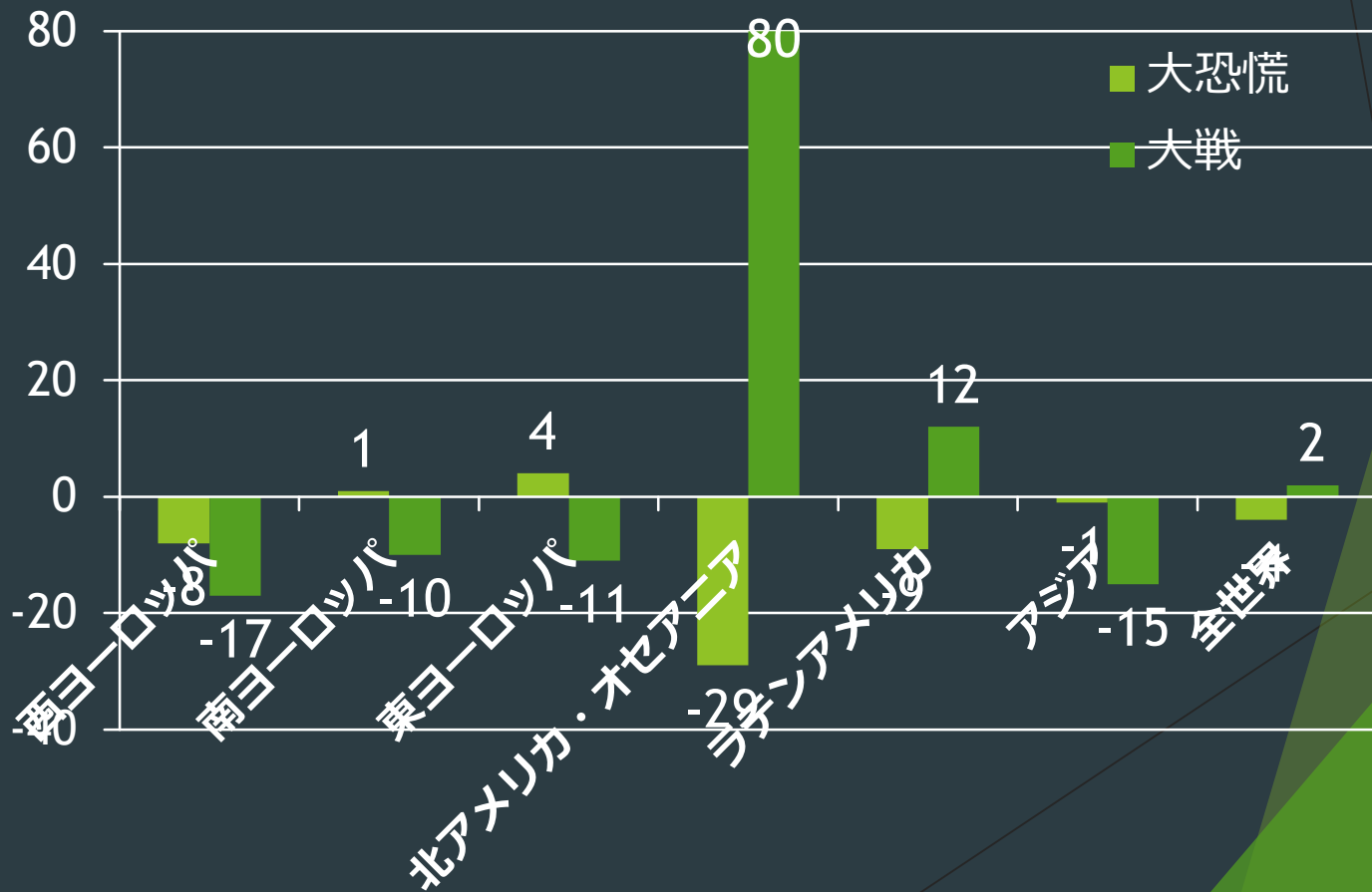


世界をグラフでつかまえる!

ラスト優秀作品 **10**名 を発表します。



日本とアメリカの競争だ！

TITLE: USA に追いつけ!!

グラフの長さ

日本とアメリカの差
(中国)



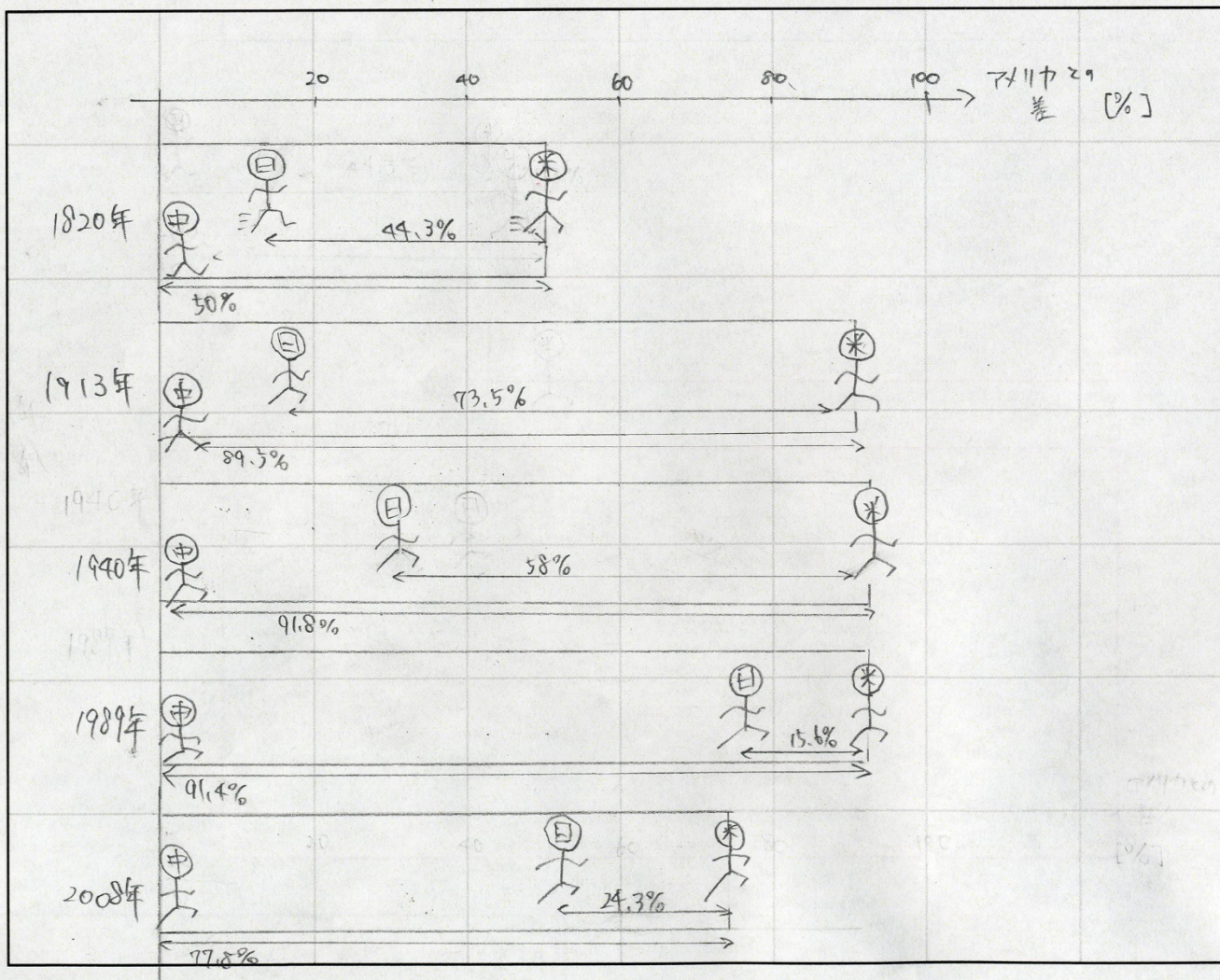
説明しよう！
このグラフは

$$\frac{\text{アメリカ} - \text{日本(中国)}}{\text{アメリカ}} \times 100 [\%]$$

1989年で日本は一気に
追いついたが、

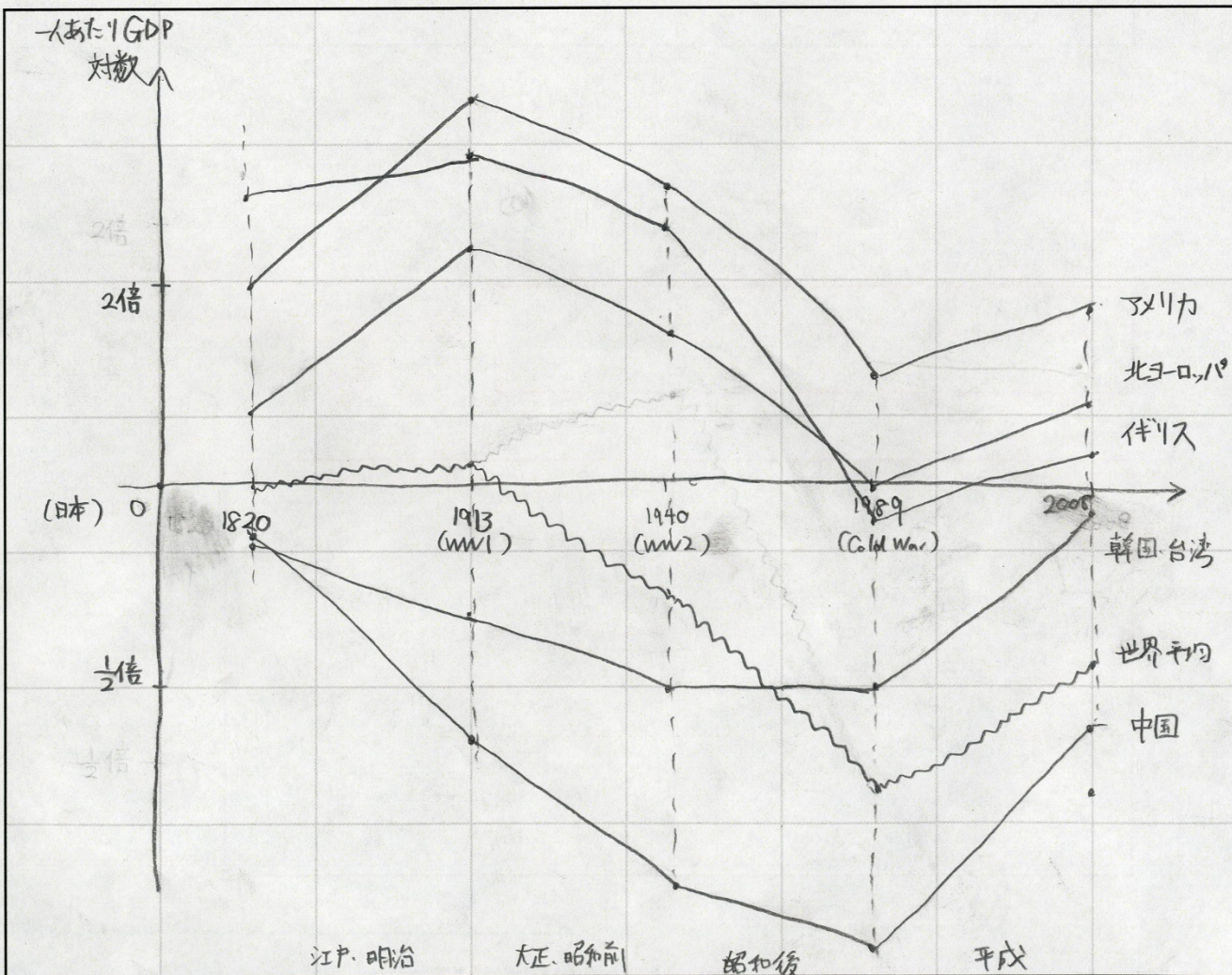
中国ははるか後ろの方。

結局 アメリカには追いつけなかった



日本を基準に世界を見渡す しかも対数表示！

TITLE: 日本から見た世界



説明しよう！
このグラフは

日本を基準にとり、
各国の1人あたりGDPの
対数を表にしてみました、

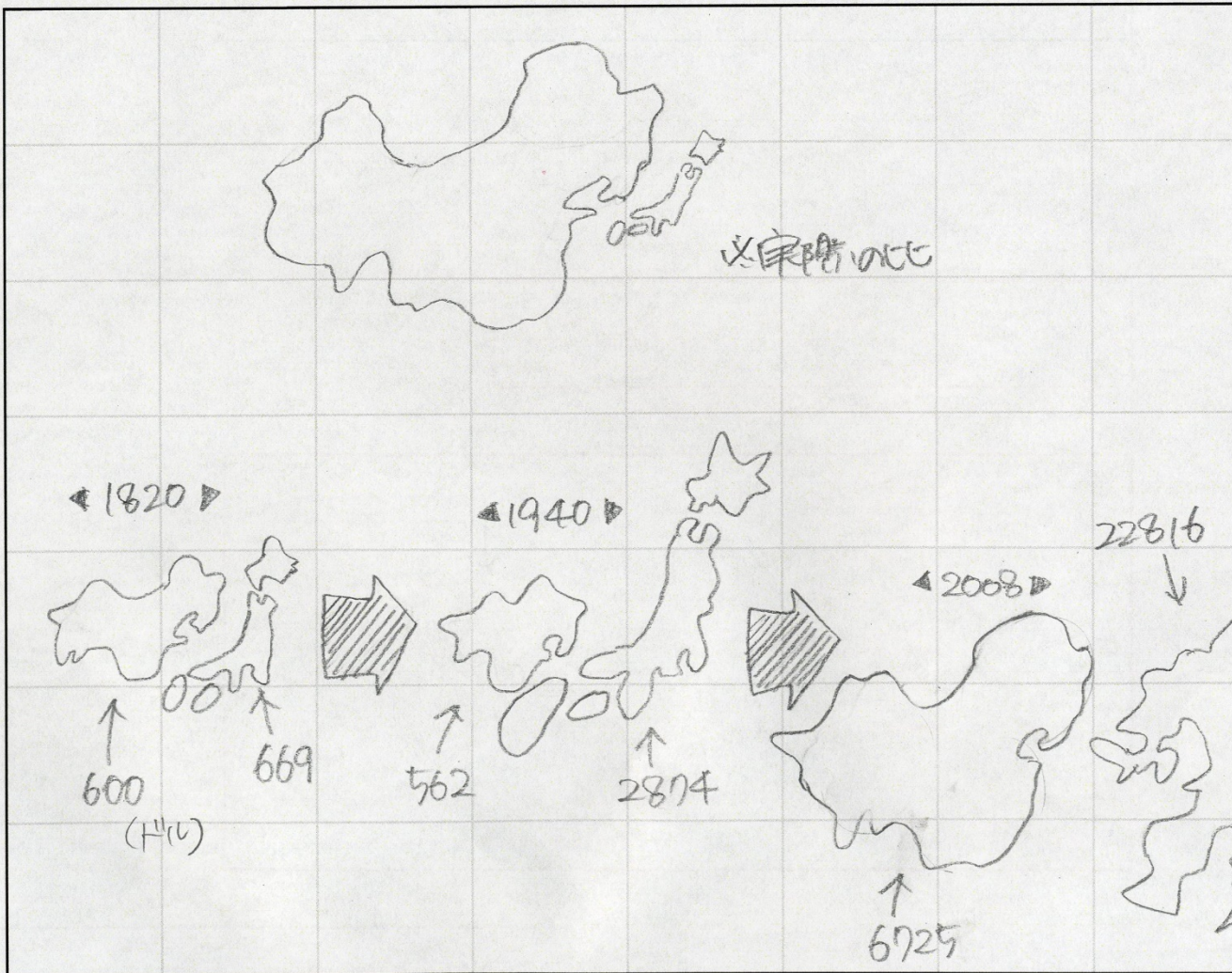
左グラフより

- ・大正・昭和の時代に日本の相対的
ポジションが高まったこと
- ・平成の時代に日本の相対的
ポジションが低くなったこと

が読み取れる

地図で可視化してみた

TITLE: 日本は木をやっただ?



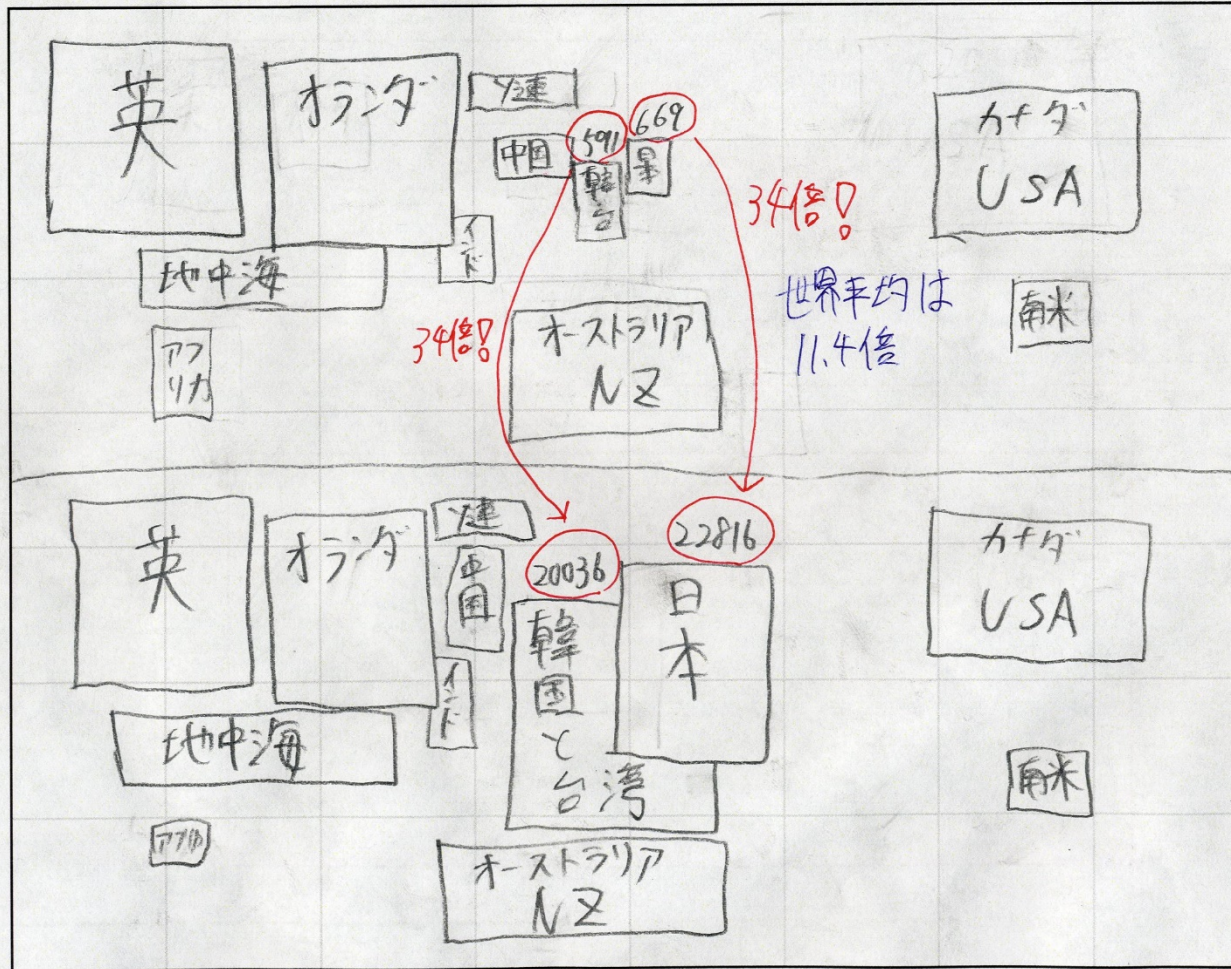
説明しよう！
このグラフは

中国と日本の
1人当GDPの
変化と差を
国の大きさで
視覚的に
表した。

シカクで可視化してみた

TITLE: 日本・台湾・韓国の大躍進

1820年

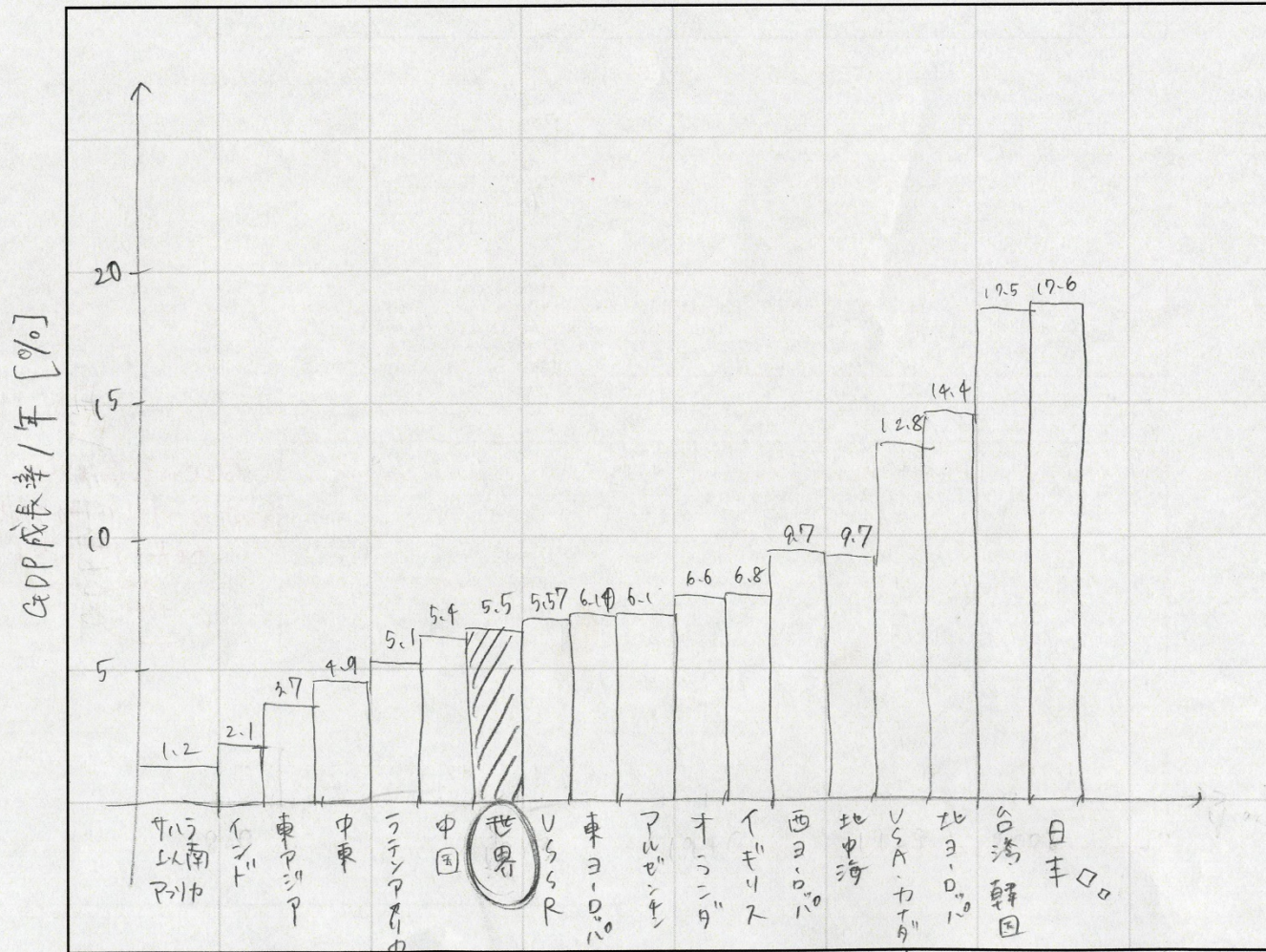


説明しよう！
このグラフは

1820年と2008年の
GDP値にあわせて
世界地図を変形した
ものである。
日韓台の大躍進
が一目で分かる。

順番に
並べてみた

TITLE: 成長率の国ランキング (1820-2008)

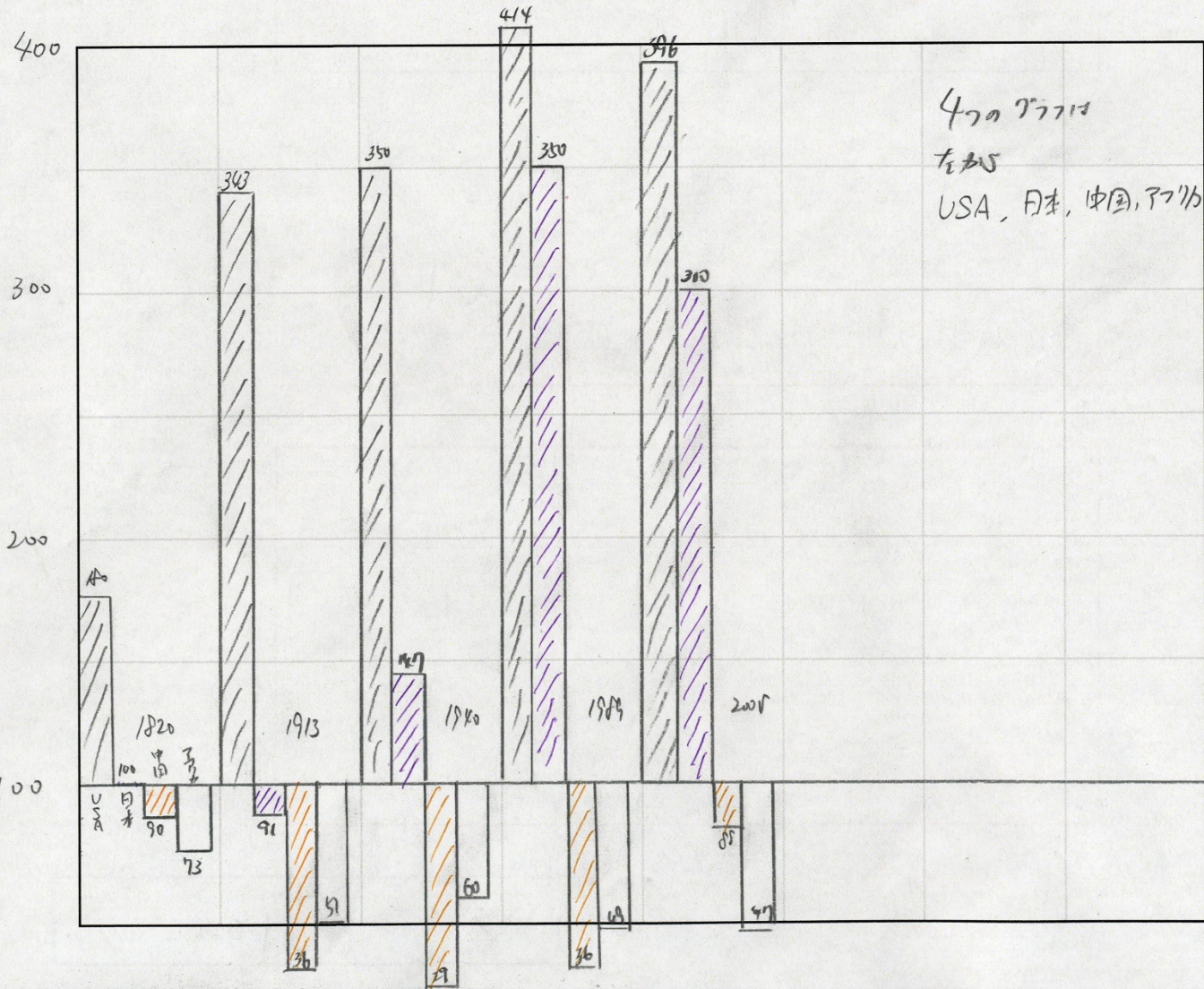


説明しよう！
このグラフは

1820-2008年のGDP成長率を
1年あたりでヒストグラム。
世界全体では、この188年
5.5%/年 成長
日本は単一の国としては
一番高くて 17.6%/年
成長している

世界平均 プラスマイナス

TITLE: 世界の平均を 100% としたときの
1人あたりの GDP

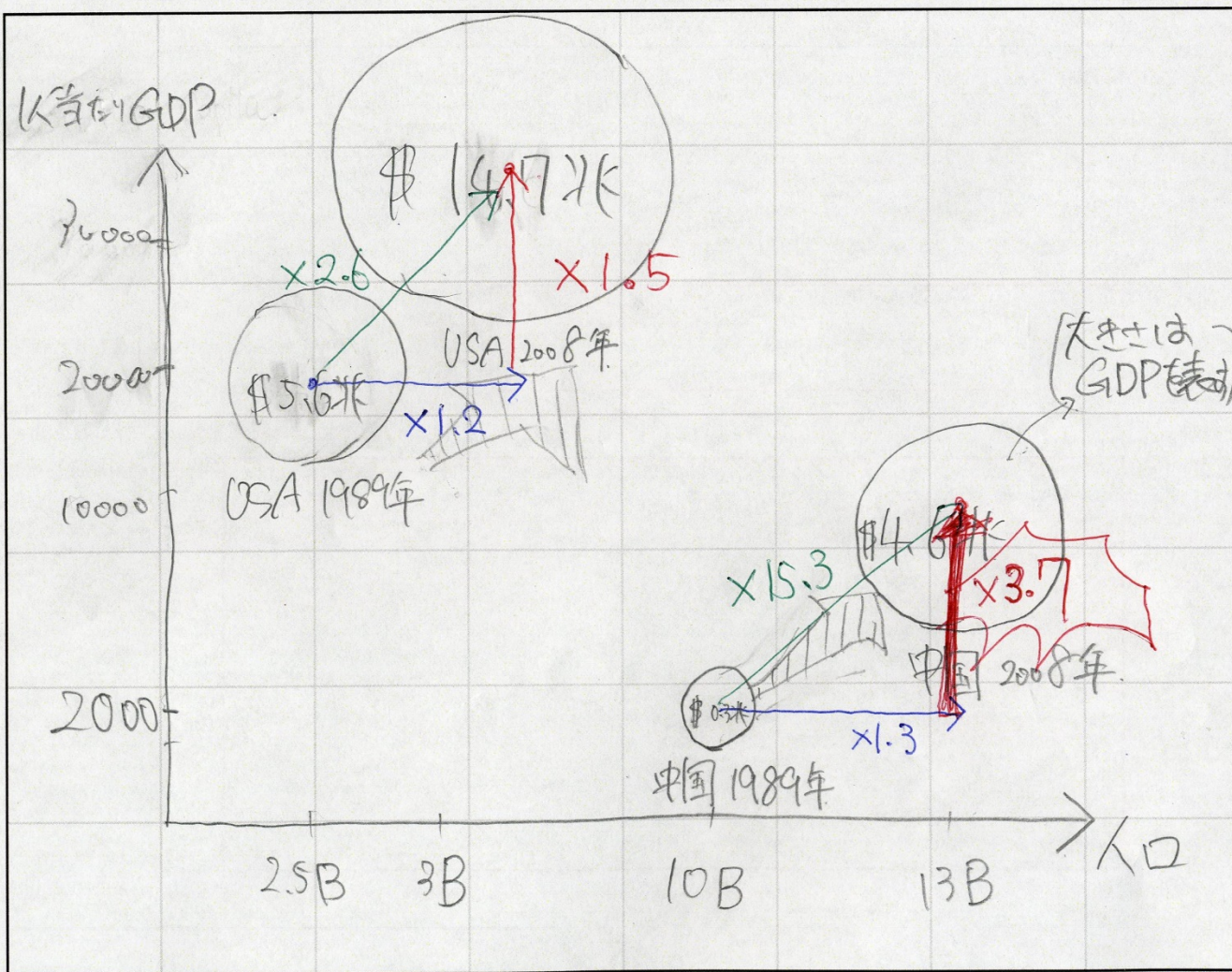


説明しよう！
このグラフは

格差をわかりやすく
一目瞭然！

人口データを
加えてみると

TITLE: 米中のGDP成長分解.

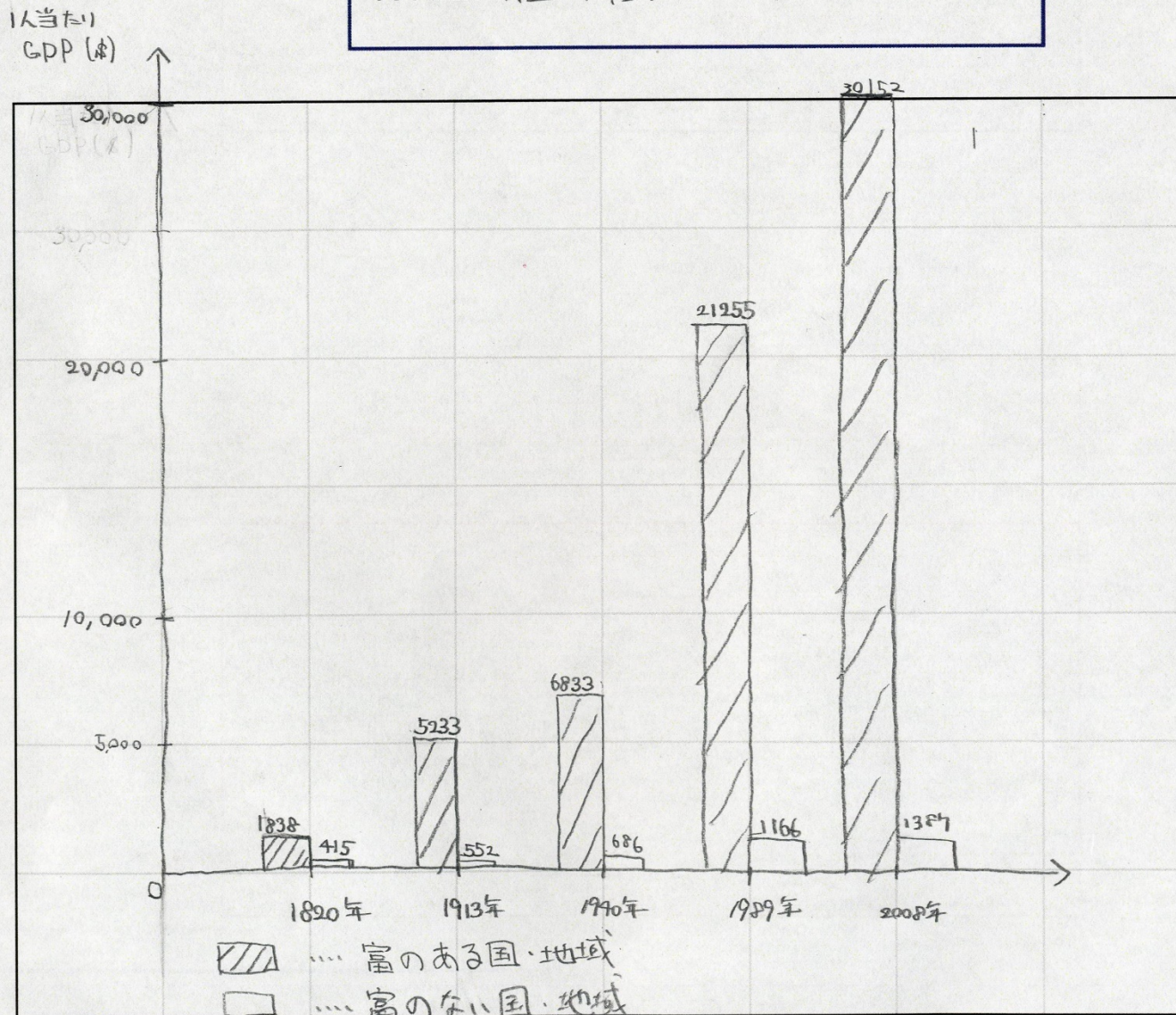


説明しよう！
このグラフは

GDP成長を、人口と1人当りGDPの2つに分解している。
⇒ この数値の中国のGDP成長のドライバーは、1人当りGDP↑だとわかる。
〇〇 アメリカと中国の人口増は、同じくらい率である。

世界の格差の 拡大

TITLE: 経済格差の増加



説明しよう！
このグラフは

その年毎で、
最も 1人あたりGDPが
高い国・地域 と
低い国・地域 を抽出して
GDPの差が年が進むにつ
れてどうなっているかを
視覚化した。
経済格差は時代が進むにつれ
て拡大している。

西と東の相違に着目

THIS IS my GRAPH!

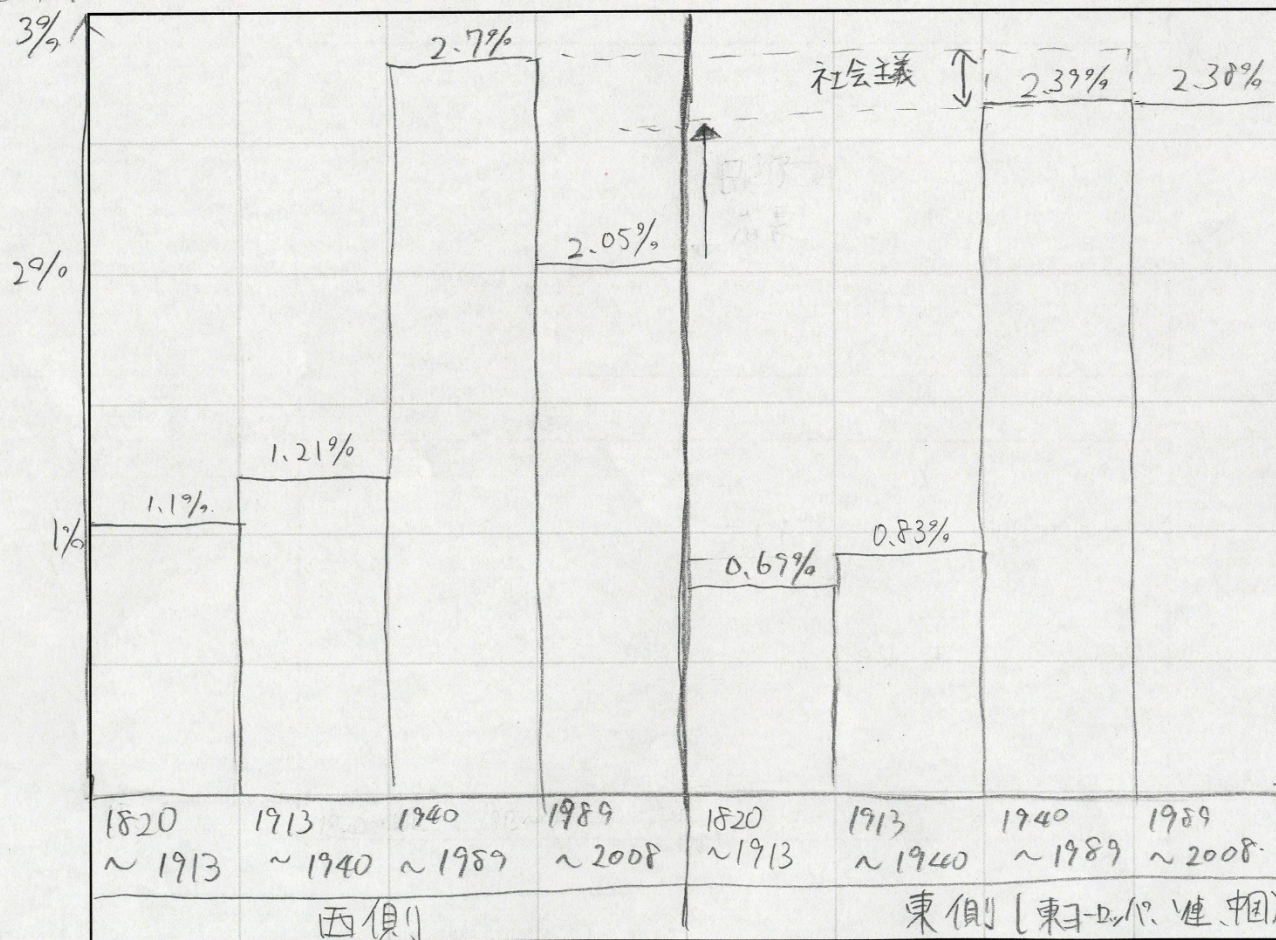
TITLE: 市場開放の重要性

CAGR (年平均成長率) (%)

	X年	Y年
値	A	B

$$\left(\left(\frac{B}{A} \right)^{\frac{1}{Y-X}} - 1 \right) \times 100$$

CAGR (%)



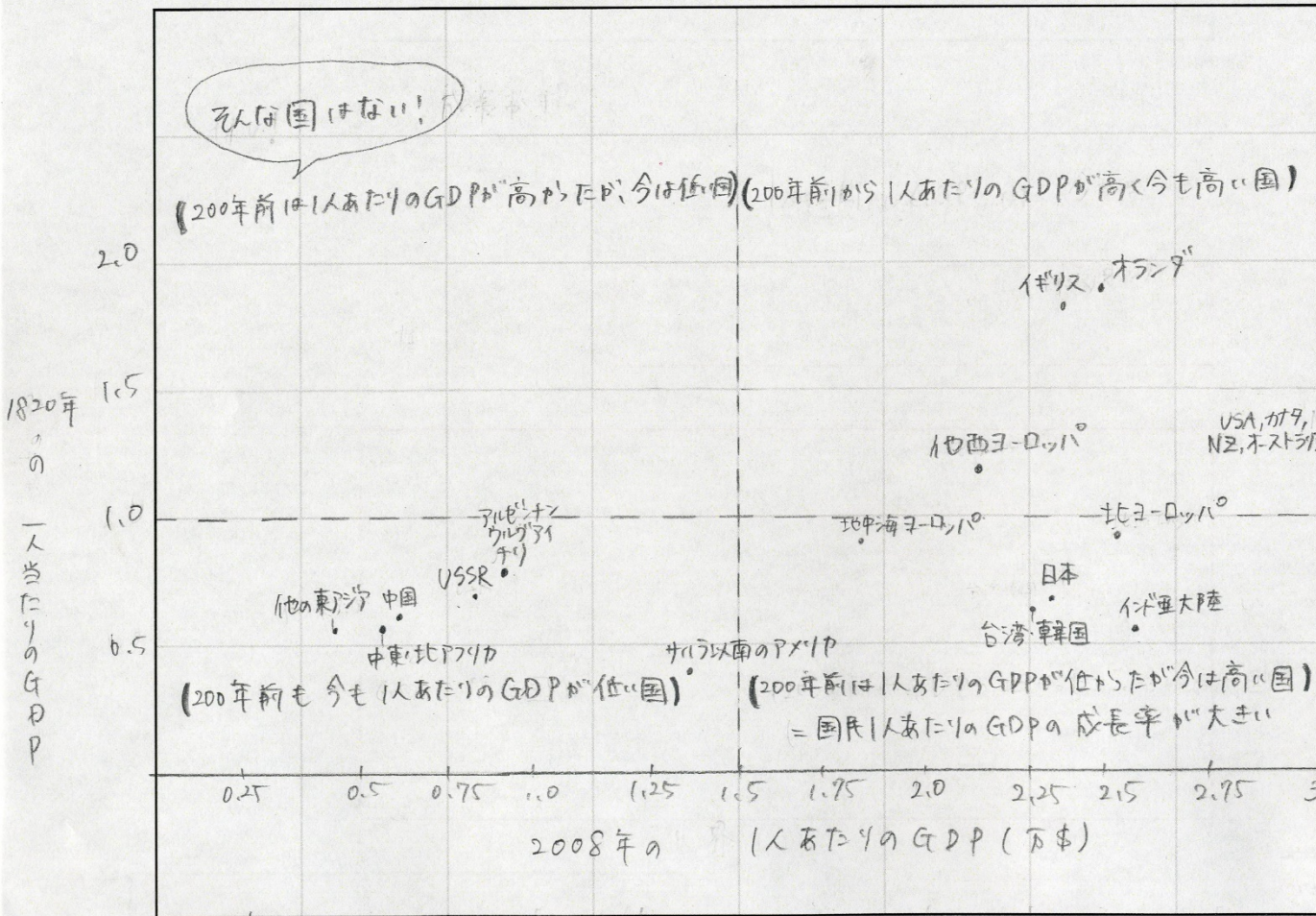
説明しよう！
このグラフは

このグラフは 1人当たりGDPの CAGRの 西側諸国と 東側諸国の対比を行っている。 1940~1989の CAGRを比較すると、西側諸国の方が成長スピードが速いことが分かる。一方、1989~2008では、旧東側諸国の方が成長スピードが速い。このことから、市場開放が経済にプラスであったことが直感的にわかる。

4座標で表現

最優秀賞

TITLE: 国別 1人あたりGDP成長率



説明しよう!
このグラフは

縦軸は 1820年の 1人あたりのGDP
横軸は 2008年の 1人あたりのGDP
をとり、点が右上に位置する国
は200年前から1人あたりのGDP
が高く今も高い国という。このグ
ープには世界で最初に産業革命が
起きたイギリスが入っている。点が右下
に位置する国は 国民1人あたりのGDP
の成長率が大きいという。このグ
ープに 日本、台湾、韓国、といったアジアの国
が入っている。点が左下に位置する国は
200年前も今も 1人あたりのGDPが
低い国だといえる。点が左上に位置
する国は200年前から 1人あたりのGDP
が低かった国だが、そのおかげで